



# めたせこいあ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

## 吉賀高校のキャリア教育について

吉賀高等学校 校長 熊谷修山

先日、「近畿経済産業局が、後継者不足から中小企業の廃業が進み、関西では2025年までの約10年間で約118万人の雇用と約4兆円の域内総生産(GRP)が失われると試算した。」という記事を目にしました。農業や水産業など第一次産業の分野で後継者が不足していることは、もう何年も前から言われていることですが、商・工業の分野でも後継者不足が大きな問題となってきたということです。そして、12月になって、「政府が、中小企業の後継者が非上場株式を引き継ぐ際に相続税などの納税を猶予する『事業承継税制』の改正案を固めた。」という記事がありました。これは、全国的な後継者不足に対して、政府がその対策を強化しようとしているということですが、裏を返せば、それほど後継者不足が深刻だということです。

都市部においてそういう状況ですから、個人事業が主体の地方の市や町では、後継者不足の問題はより深刻だと思えます。個人事業主の方の多くは、身内の方に跡継ぎがおられない場合、それはそのまま廃業を意味することになると思えます。事業主の方が人生をかけて築いてこられた事業を、自分自身で閉じるというのは無念なことだと思えます。また、個人事業主の方の事業は、その市や町の生活を支えているという面があると思えます。特にご高齢になられるまで事業を続けられるということは、単に儲かるからという金銭的な理由を超えて、地域住民の生活を支えているという自負と責任を感じておられるからだと思えます。例えば、電器店を営む方であれば、必要な電化製品を販売するという事業はもちろん重要ですが、それ以上に高齢者の方の家で代わりに蛍光灯などを取り替えてあげれば、とても喜ばれると思えますし、それもとても重要な役割になっていると思えます。そのような地域貢献ともいえる事業を閉じなくてはならないとすれば、ご本人はもちろん地域住民にとっても無念さが大きいのではないのでしょうか。そして、このようなことは、島根県全体はもとよりこの吉賀町でも現実起こっていると思えます。実際に、商工会でも会員の方が減少の傾向にあるとうかがっています。

このようなことを書くと大変僭越で失礼なことになるかもしれませんが、吉賀高校としては吉賀町内で行われている事業を引き継いでいく後継者を、あるいは事業を引き継ぎながら吉賀町を盛り上げていこうとするような若者のメンタリティ、精神性を育てていくことも、吉賀高校のキャリア教育の一つの重要な側面であると考えています。そしてその事業分野は、農業も、林業も、商業も工業も、あらゆる方面で可能性があると思っています。なぜなら、吉賀高校が、普通科だからです。普通科だからこそ、あらゆる可能性が考えられるのだと思えます。事業を引き継ぐといっても、それは簡単なことではなく、その事業を運営していく上での経験や事業内容についての勉強もしなくてはなりません。吉賀高校のキャリア教育『アントレ』で、自分の興味・関心・適性のある分野を見つけ、そこから大学や短大・専門学校へ進学し、あるいは就職して、その分野での経験を積んで、そしてその後吉賀町で事業を引き継ぐ。そんなあり方が普通科だからこそ考えられるのではないかと思います。

ところで、「事業を引き継ごうとする高校生にとって、夢はあるか」という問題があります。次号では、「夢は大いにある」ということについて書かせていただきます。

## 2 学 期 校 内 球 技 大 会

12月6日(水)に2学期校内球技大会が行われました。雪が降りしきる極寒の中、今学期も熱い試合が繰り広げられました。午前のバレーボールでは、男子は2年生、女子は3年生のチームが優勝しました。午後のバスケットボールでは、男子は3年生が意地を見せ優勝、女子はバレーボールに続いて3年生の優勝でした。1年生もよく頑張り、男子のバレーボールでは第2位と健闘しました。各学年の団結力を感じることのできる、素晴らしい大会になったと思います。(上野城)

### ○球技大会 成績発表○

男子バレーボールの部	優勝	2年生A	女子バレーボールの部	優勝	3年生A
男子バスケットボールの部	優勝	3年生B	女子バスケットボールの部	優勝	3年生C

## 1 年 保 育 実 習

11月21日(火)に1年生の授業「家庭基礎」の一環として、七光保育所で保育実習を行いました。お互いにあいさつをして写真撮影を行った後、園庭で一緒に遊びました。最初は接し方に戸惑っていた生徒も徐々に打ち解けあい、砂遊びやボール遊び、鬼ごっこなどをして楽しく活動することができました。園児と職員の皆さんの力で生徒の心がひとつ成長したと思えます。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(山崎)



## 人権週間 ～人権・同和教育HR～

12月4日～10日は人権週間でした。それに伴い、本校でも12月12日(火)5限には人権・同和教育ホームルームの公開授業を実施しました。内容は次の通りです。

- 1年生「ハンセン病問題に関する差別から学ぶ」
- 2年生「差別的な言動に遭遇した時にとる行動を通じて学ぶ」
- 3年生「結婚差別から学ぶ」

1年生はビデオ教材を通して、まずはハンセン病に関する知識を習得しました。そして、谷元美月さんがスライドを使い、7月に行った大島青松園訪問(香川県高松市)と吉賀町出身の大西さんとの交流について報告をしました。研修報告と感想を聞くことで、生徒たちも、これまでハンセン病で社会から差別されてきた人たちの存在を知り、これをきっかけに差別事象を身近な問題として捉え、差別への理解を深めました。



2年生は「ある日の祖母とあなたの会話」と題して、  
祖母 「あんたと同じクラスに、シマウマ地区のライオンって  
いう名字の子がおるじゃろう。その子とは、あんまり  
つき合わん方がええよ。」

あなた 「え？なんで？」

祖母 「だって、シマウマ地区の出身じゃけえねえ。  
あそこは部落じゃけえ、怖いよ。」

あなた 「おばあちゃん、それは差別になるからいけないよ！」「・・・」

という場面設定をし、これに続く「・・・」部分のあなたのセリフをグループごとに完成させること  
で、差別を自分たちの問題として考える授業を行いました。無意識のうちに部落差別をする人に対し  
て、どのような声をかけると相手の立場も尊重しながら、同時に差別がいけないことを伝えられるか  
を考えました。その結果をグループごとに発表し、お互いに学びを深めました。

次は、授業の感想文からの抜粋です。「今までこういう学習をしてきているのに、どうして部落差  
別がされているか、それはなぜいけないことなのか、・・・(中略)・・・こういう差別を時間で解決し  
て、無かったことにしてはいけないと思いました。」



3年生は「結婚差別」を扱い、将来起こり得る身近な差別事象  
を題材にして、差別の問題に対して「私ならどう向き合うか？」と  
自らに問い、解決に向かう態度を考えていきました。差別は繰り返  
され、親の代から子へと受け継がれていく面があります。これ  
から卒業して社会や家庭を支えていく生徒にとって、物事に対す  
る正しい知識と磨かれた人権感覚を養い、社会に出る前に差別意  
識にどう対峙するかを考える時間となりました。(勝部)

## 部活動報告

### 美術部

(長谷川)

★島根県高等学校文化フェスティバル 第50回 島根県高校美術展

入選 「あの奥には何が」 3年2組 大庭智里

入選 「路地」 3年2組 吉木翔哉

入選 「無」 3年2組 吉木翔哉

現在、1・2年生の部員がいないので、興味のある人は是非、入部をお願い  
します。



### 写真部「島根県高校写真展」

(毛利)

12月8日(金)～10日(日)、グラントフにて、島根県高校写真展が開催されました。春季・秋  
季コンクールで入選した6点をパネルにし、出品しました。その中で、1年下森清貴君の「自分のお  
気に入りの場所」が奨励賞を獲得しました。

これから、吉賀町ならではの雪景  
色が見られます。シャッターチャン  
スを見逃すことなく、写真を撮って  
いき、来年度のコンクールに向けて  
技術を向上させていきたいです。



## 秋のイベントに出店 & 発表

### 地域クラブ

(安達)

七カ祭、きん祭みん祭文化祭にてライスバーガーを販売しました。どちらの会場も15～20分  
で完売しました。ご購入いただいた皆様、ありがとうございました。



### お知らせ

12月19日(火)に2年生総合的な学習「吉賀町魅力・活性化プラン発表会」が本校にて行  
われました。多くの方にご来場いただき、2年生にとって有意義な発表会となりました。次号のめ  
たせこいあにて、ご報告させていただきます。

1月26日(金)には、1年生キャリア教育発表会を吉賀高校にて行います。多くの皆様のご来  
場をお待ちしております。

### 中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

#### 「小学生向け科学実験教室 in 吉高」は大歓声!

11月29日(水)に町内の小学5年生を吉賀高校に招いて、科学実験教室を開催しました。中学  
校の理科の先生方には、毎年大人気の液体窒素を使った実験を紹介していただきました。マイナス  
196℃の世界をマシュマロとフィルムケースを使って経験し、児童諸君は、大はしゃぎでした。また  
吉賀高校の理科の先生方は、マーブルチョコレートの筒を利用して、万華鏡を作りました。いずれも  
普段の授業ではなかなか味わえない体験です。この実験や活動を通し、小学生に驚きや感動を与える  
ことで、科学に対する興味が少しでも持たせることができたかなと感じました。今後も小中高が連携  
して「理科の面白さ」をますます広げていきたいと考えています。



### お詫びと訂正

11月号掲載の、中高合同ロードレース大会の成績に誤りがありました。

関係者にお詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

Bコース・・・高校女子及び中学生男子、女子(8km)

中学女子の部 3位(誤) 河村海音(吉中)さん (正) 河村海香(吉中)さん

(福井教頭)